

産前産後のメンタルヘルスケア

2019年7月14日（日）於 神奈川県立こども医療センター

①13:00～15:00 ②15:15～17:15

参加人数：会員 28名 非会員 55名



①周産期医療の現場で何をやるべきか

竹内 崇氏

東京医科歯科大学医学部附属病院 精神科 医師



②明日から実践できる支援方法

新井陽子

北里大学看護学部准教授 助産師

研修内容

①何故今周産期メンタルヘルスが注目されるのか
産科・精神科診療の整備など現状と問題点について。
3つのガイドラインについて。母子支援システムの流れ
精神科医療の実際と各論。具体的な事例。
今後の課題と展望について。

②明日から実践できる支援方法
妊娠期からの切れ目ない支援の方法について。
情報収集とアセスメントのポイント。
EPDSを活用した支援、地域との連携について。
明日から実践できる具体的な方法。



担当者の感想

講師に精神科医師と助産師を迎え、なぜ今、周産期のメンタルヘルスが注目されているのか？具体的に助産師はどう取り組めばよいのか？明日から役立つ支援の方法について、ご講義を頂いた。アンケート結果を見ても、丁寧に分かりやすく、テンポの良い講義で、満足度が高かったようである。改めて助産師が、周産期のメンタルヘルスケアの場面で、活躍できる自信や希望を頂いたのではないかと思う。今後は、精神疾患の知識を広げ、地域の資源を活用し、多職種との連携がとれるような体制を整えて、助産師らしい支援をしていくことの必要性を強く感じた。

